

**第3期八戸市中心市街地活性化基本計画
令和元年度定期フォローアップ報告書に対
する意見書**

令和2年5月

八戸市中心市街地活性化協議会

意見書

当市中心市街地においては、八戸市中心市街地活性化協議会並びに八戸商工会議所、(株)まちづくり八戸及び行政や中心市街地関係者等が連携しながら、官民一体となって中心市街地活性化に取り組むことができた。

中心市街地内の三日町では、路線価、基準地価が2年連続上昇し、不動産取引が活発化するなど、これまでの事業の成果が目に見える形で表れてきている。

近時の主な事業としては、令和元年9月29日に八戸市長根屋内スケート場がオープンし、令和2年3月16日には花小路の整備が完了したほか、本年夏オープン予定の八日町複合ビル「DEVELD八日町」や、青森銀行と協調開発が進む八戸市新美術館整備事業が推進されており、中心市街地活性化に向けて明るい話題が続いている。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症の流行により、飲食業、宿泊業等の関係業界を中心に甚大な影響を受けている。この影響への対応を進めるとともに、終息後を見据えた新たな中心市街地の在り方、社会経済活動やライフスタイルの提案など、官民で知見を結集し難局を乗り越えていくことが重要である。

なお、平成30年11月に認定を受けた、第3期基本計画で掲げた目標指標のうち「歩行者通行量」については前年度より数値が下降しており、増加傾向の「公共施設来館者数」も踏まえた上で、八戸市におかれましては、要因等について調査・分析し、数値目標達成に向けて対策を講じるべきと考える。

八戸市中心市街地活性化協議会

会長 河村 忠夫